

## 平成30年度海邦丸五世第1次航海出航

4月11日(水)小雨がぱらつくあいにくの天候でしたが、09時51分本校大型実習船海邦丸五世が本年度の第1次航海実習に向け、糸満漁港専用バースをゆっくりと離岸しました。

出港に先がけて、09時15分から船内士官食堂にて、出航前会議が実習船運営部の潮崎征孝教諭の司会で執り行われました。一等航海士、機関長、通信長、甲板長、指導教官から「出航前点検において全て異常なし」との報告があり、船長から「安全運航に徹し、乗組員共々協力し生徒らの本実習を無事に終え、43日後の朝には元気に糸満に戻ってきます」とありました。また、乗船する生徒の健康状態について専攻科職員とともに再チェックを行いました。



次に、生徒食堂にて乗船式、今航海には本校専攻科1年14名、3年1名、海洋技術科3年3名、計18名が乗船します。整列着席した姿には、長期航海にのぞむ張り詰めた緊張感と、表情には既に海の男の凜々しさが備わっていました。

専攻科3年久田靖也君が生徒を代表して「これからの長い航海に気合いを入れていくこと、安全第一に徹し、友人や船員の方と助け合い協力しながら頑張る」と決意を表明しました。

航海は、4月13日に宮古総合実業高校の生徒13名乗船のため平良港に寄港の後、16日に台湾・基隆港に入港3泊、20日に漁場向け東針航行し14回の漁労実習を行い、5月15日には鹿児島県枕崎港へ入港水揚げ、2泊の後、22日に平良港、そして23日08:30分糸満漁港に帰港する予定です。

「出航スタンバイ!!」の船内放送に促され下船すると、既に作業着に着替えた生徒たちが、船首、船尾で船員の指示の元に離岸作業を行っています。出港の際の、錨を上げ転進してゆっくりと港を出て行く499トンの美しさに見とれていると「こんな船でも、沖に出たらちっぽけなものなんだよねえ」と一緒に見送っていた専攻科前泊光男教諭のつぶやくような声が印象的でした。

御安航 かりゆし旅 祈願 Bon Voyage!!

